

## 山里ハイキング(1等三角点がある堂平山・奥武蔵最西端の笠山) 2011. 5. 4

ときがわの町の西端に連なる奥武蔵の山並みは関東平野を一望できる景観と豊かな自然に魅せられ多くのハイカーが訪れます。山麓の山里大野から高峰「堂平山」西端の「笠山」を目指します。標高875メートルからのパノラマ眺望とコース沿いの様々な自然の姿が堪能できます。



**(コース)** 窯場からパラグライダーの飛び立つ駐車場まで (0.30) 乗合で行く ~0.20 堂平山~0.20 七重峠~0.30 笠山 (乳首山) 展望が良ければ食事~0.20 七重峠~0.40 堂平山 (休憩) ~0.20 駐車場~車で0.20 小峯宅 (蕨狩り 0.40) ~0.20 窯場へ解散

### (三角点の話)

1等三角点は全国で約1000点設置され、その点間は約40kmに1点の割合である。(必要に応じて補点25kmに設置されている。) 柱石は18°角で長さは0.82mで重さ90kg・柱石の下に2枚の盤石が埋設されている。(埼玉県では11点で、この近くでは城峰山) 2等三角点は8km間隔に全国で5000点、3等三角点は4km間隔に全国で32000点、4等三角点は2km間隔に全国で64000点の割合で設置され国土基本図の基準となっている。今はGPSで位置を計測するが、明治時代から昭和15年頃まで(参謀本部陸地測量部) 戦後から昭和60年代まで建設省国土地理院で三角測量実施していた。4等三角点の設置は民間に委託されていた。